

柑芦会 本部 ニュース

第 27 号 2021. 10. 1.



wakayama
univ.

国立大学法人
和歌山大学

—そして ここから—



1. 大学情報

令和 3 年 9 月

各 位

和歌山大学ホームカミングデー実行委員会

第 1 1 回和歌山大学ホームカミングデーのご案内

和歌山大学では、下記のとおり第 1 1 回ホームカミングデーを開催しますのでご案内申し上げます。
記

【プログラム】

日 時：令和 3 年 1 0 月 2 3 日（土） 1 3 時 3 0 分 ～ 歓迎式典（15 時 3 0 分終了）

場 所：和歌山大学キャンパス（和歌山大学栄谷 9 3 0）

概 要：歓迎式典

講 演：「システム工学部の四半世紀～5 学科制から 1 学科 10 メジャー制へ～」

和歌山大学システム工学部長 野村 孝徳

特別講演：「共創」による新たな地域連携 —Kii-Plus の取り組み—

和歌山大学理事・副学長 山本 進三 ほか

施設開放

紀州経済史文化史研究所 展示室

企画展「吉田初三郎式鳥観図から可視化する和歌山観光名所」

【申込み方法】 次のいずれかの方法で 1 0 月 1 7 日（日）までにお申し込みください。

- ・ホームページから 下記の HP アドレスにアクセスし、「参加申し込み」のボタンをクリックして下さい。
- ・メールから 下記のメールアドレスに必要事項をご記入の上、送信下さい。

【申込み・お問合せ先】

和歌山大学ホームカミングデー 事務局（〒640-8510 和歌山市栄谷 9 3 0）

HP <http://www.wakayama-u.ac.jp/homecoming/>

Eメール hcd@m1.wakayama-u.ac.jp お名前,住所,電話,メールアドレスを記載し送信ください。

事務局から受付メールを返信します。

TEL 073-457-7089

※ご参加に際し、何らかの支援・情報保護が必要な方は、10 月 8 日までに事務局までご連絡くだ

さい。

【お知らせ事項】

駐車スペースは限られておりますが、自家用車でお越しいただいても結構です。

今回は、生協食堂での食事の提供はございません。

コロナ感染症拡大の状況により変更となる場合がございます。その場合はホームページ、登録メールでお知らせします。

2. 寄稿①



経済学部で租税法を教える

経済学部教授

團野正浩

私は、本年7月に国税庁からの人事交流により和歌山大学に赴任し、経済学部で租税法の授業を担当することになった。

一般に経済学部の専門科目のイメージは経済学、会計学、経営学などと思われがちであり、租税法を教えていることに対して、柑芦会の皆様からは若干の驚きがあるかもしれない。しかし、租税法は、和歌山大学経済学部の中で「企業会計・税法」として5つのプログラムの一つに位置付けられているし、大学院（経済学研究科）の8つのプログラムの中にも存在しており、主要な科目の一つになっている。

租税法は学問領域としては法律学（公法学）の一分野ではあるが、実は、会計学、財政学、経営学など経済学部で教えている他の分野とも密接な関係を持つ学問である。

例えば、会計学との関係で言えば、法人税の計算の基礎となる法人所得の計算をする際には、別段の定めがあるものを除き、「一般に公正妥当と認められる会計処理の基準に従って計算されるものとする」（法人税法 22 条 4 項）となっている。そして、ここでいう「一般に公正妥当と認められる会計処理の基準」とは会計学（簿記論や財務会計論）で学ぶ内容そのものである。

また、経営学との関係では、組織再編、事業承継、海外進出など経営戦略を考える上で税務の問題は避けられないテーマになっている。他方、ビジネスに関する様々な環境変化に適切に対応するために租税法自体も整備されてきており、その結果、法人税法の法規集の厚さは、私が大学を卒業した 30 数年前に比べて、2 倍程度にもなっている。

更には、少子高齢化、働き方改革、DX（デジタルトランスフォーメーション）、災害被害者への対

応など様々な社会問題や課題に関しても租税が関係しており、租税は社会や経済を映す鏡であるであると言っても過言ではない。

このように多くの分野との関わりがある租税及び租税法を将来的に社会（特に経済分野）で活躍していくことが期待されている経済学部の学生には是非学んでもらいたいと考えている。

しかし、租税法は複雑で難しいというイメージがあることに加え、プロフェッショナルの教員に比べると、私のような経験の浅い実務家教員は、教え方もうまくないので、そもそも授業を受けてもらえるかどうかの問題である。

そこで、わかりやすく面白い授業を作るということが、目下の最大の課題となっている。

現在、10月から始まる後期の授業に向けた準備をしており、法律や裁判例などの説明をわかりやすく図表やポンチ絵にまとめることができないかの工夫を始めつつある。また、授業中に学生が退屈しているように見えた時にすぐに使える乾坤一擲の「小ネタ」もこれまで転勤が多かった役人人生を踏まえた内容で用意しておこうと考えている。

これからも可能な限り授業の改善を続けて、将来的には「和歌山大学経済学部の租税法の授業は面白いらしい」という学生からの声が柑芦会の皆様に届くようになればと思っている。

2. 寄稿一②

令和3年9月1日

舌癌そして鬱病からの復活

毛利恵行（姫路支部長・大25）

私は50歳の時、堀ちえみと同じ症状で舌癌になり地域で最も信頼されている病院の先生から「舌を半分切るしかない」と宣告されました。ろれつが回らなくなるということは税理士業という事業（私の仕事）の継続が困難となるため「廃業」という2文字が脳裏をよぎりました。家族はどうなるのだろう、職員はどうなるのだろうと頭の中が真っ白になりました。

しかし舌を切らずに舌癌を治療する「癌治療の最前線」というテレビ番組を見たことを思い出し早速インターネットで検索してみると、京都大学医学部付属病院で『小線源治療』という術式があるということが分かりました。今まで撮ったCT・MRI等の画像を持ってセカンドオピニオンとして京大病院で診てもらおうと、今ならステージⅡなので小線源治療ができると回答をもらい早速入院しました。1か月間の放射線照射後、小線源の治療も無事終わり4か月後には舌を切ることなく仕事が続けられていることに感謝しました。その1年後、今度はリンパ節にしこりのようなものが出来たため、診てもらおうとそれは果たして癌細胞でした。リンパ節に転移するとなると癌細胞が全身を駆け巡ると聞いていたので今度はダメかと絶望しました。

しかしその癌細胞は転移したのではなく、小線源治療を行うための舌からリンパ節に向けて管を通す外科手術の際に、癌細胞をそこに移植した状態よるものではないかとのことでした。放射線照射した箇所は切開すると治療が遅く、行う必要のなかったリンパ節廓清という手術の術後の痛みはなか

なか治らず悔やまれました。さらに1年後、軽度の脳梗塞を発症し、方向感覚の麻痺や運動機能障害も出ました。CT 画像を見せてもらうと脳の一部が白化しているのが見て取れました。ただでさえ精神を病んでいるのに追い打ちをかけるように悩み事が増え、もうゴルフも出来ないのかと鬱の状態になりました。人に会うのが億劫になり、人混みの中へ出かけるのも嫌になるという鬱病患者の気持ちが分かりました。

この鬱状態を脱するには「自分が楽しいと思えることをやることだ」と心に決め、妻と旅行をすることにしました。まずは身近な温泉地から毎月一回の小旅行から始め、そのうち寺めぐりをテーマに四国八十八所巡りも達成しました。私はそんなに信心家でもないのですが、スタンプラリーと思って神社仏閣巡りをしていると精神面の健康が取り戻され、随分と鬱状態が改善されて来たように思います。当然定期的に CT 検査もしていましたから、先生から白化していた患部が周りの脳の圧力に押され、いつの間にか白化していた箇所が小さくなり、健康な状態に戻っていると告げられたときの喜びはひとしおでした。これらの病を乗り越えられたからこそ大切にするモノの順番がはっきりとしました。

まず、まずは健康であることが大前提で ①家庭、なかでも配偶者 ②仕事 ③友人

今ではゴルフもできるようになり、世界遺産巡りをテーマに年3回を目標として私を支えてくれた妻と海外旅行に行った国が 50 カ国をこえました。また世界遺産巡りができるよう、一刻も早く新型コロナウイルスが収束することを願っています。

因みに、妻は和歌山大学体育会（当時、私は副会長）主催の『オープンスキーツアー』に参加してくれた和歌山大学の教育学部生（27 期）でした。もし、私が和歌山大学に行っていなかったら妻との出会いも無く、今のような生活は送れていなかったでしょう。



3. 事務局より

① 支部長会開催さる

去る9月4日(土)13:00~15:20、Zoomによるオンラインで開催。芦田昌也経済学部長にも出席いただき、北村会長、支部長(14名)、監事(3名)ほか、計22名の出席で終始熱心な議論がなされました。

特に今回は、来年(2022年度)経済学部創立100周年を迎えますので、100周年記念事業と柑芦会体制について議論いたしました。100周年記念事業については、下記会議資料を掲載します。

議題：①経済学部創立100周年記念事業について

②柑芦会体制強化について ※各支部の活動報告と意見交換

③課外活動支援金について

④本部委員会からの報告事項等 支部活性化支援委員会、学生支援委員会

会議資料

経済学部創立100周年記念事業(仮称)について

○経済学部・柑芦会の設立時期と、100周年到達時期：

1922年(大正11年)10月21日 和歌山高等商業学校設立

→ 2022年10月「経済学部設立100年」

1923年(大正12年)4月 和歌山高等商業学校開校

→ 2023年4月「経済学部開校100年」

1926年(大正15年)3月 柑芦会発足 → 2026年3月「柑芦会発足100年」

◆「経済学部創立100周年記念事業(仮称)」について(素案)：

(注)詳細は「実行委員会」(学部と柑芦会で構成)で検討する

①「和歌山大学経済学部創立100周年記念祝賀式典」の開催 … 学部と柑芦会の共催

(1) 記念シンポジウム … 各界の著名な卒業生、学部長、柑芦会長などによる

・登壇者は3~4名程度(ファシリテーターは柑芦会副会長から人選)

・時期:22年10月15日(土)「和歌山大学ホームカミングデー」のあと

(2) 祝賀パーティ … シンポジウムの終了後に、学内または学外で開催

(注)コロナ禍が現在よりも収まっていることが前提

・参加者の規模は150名程度 ・「会費制」とする(1万円程度)

②「和歌山大学経済学部100年史」(仮称)の発刊

・既刊の「経済学部50年史」も参考にして、独自の視点から編纂する。

・長廣教授を主査として、実行委員会でこれをサポートする。

③「EC奨学金制度」の新設

・大学院への内部進学者のうち、成績優秀者を対象とする「給付型」の奨学金

・給付人数は、3ユニットの最優秀者1名 → 各学年3名(2学年で平均6名)

・給付額は年間授業料の半額相当(27万円/年・人)

④「柑芦」誌の「100周年特集号」の発刊(OB・OG座談会などを含む)

⑤ 「経済理論」の「100周年記念号」の発刊(経済学部担当)

《 参 考 》

「経済学部創立90周年・祝賀記念式典」・・・学部と柑芦会の共催で実施した

・開催日:2012(H24)年10月13日 ・参加者:160名

・会 場:和歌山大学教育学部基礎教育棟

(1) 記念講演「和歌山高商建学の精神」(講師:山本健慈学長)

(2) 祝賀パーティ(会費制、@5,000円) ※柑芦会負担額:約60万円

(3) 感謝状贈呈

大学関係 …… 名誉教授以外の8名

柑芦会関係 …… 10年間の柑芦会役員・支部長/幹事長経験者・
支部からの推薦者

② ご意見募集

読後のご感想や掲載して欲しい記事または筆者があれば事務局までご連絡ください。

(本部 事務局)

和歌山大学経済学部同窓会 柑芦会 本部 事務局

〒540-0012 大阪市中央区谷町 4-4-17 ロイヤルタワー大阪谷町 207号

Tel:06-6941-4986 Fax:06-6947-7925 E-Mail: honbu@kourokai.org



フェイスブック
